

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 8月 5日 月曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)
1. 岸信夫 さん前 (15.5)	1	29.9	6.7		珪 2170
	3	28.8	6.7	33	珪 2140
	5	28.2	6.6		珪 1220
2. 大江 (13.5)	1	30.3	6.4		珪 1360
	3	29.3	6.4	33	珪 1140
	5	27.6	6.2		珪 1090
3. 道方 (10.1)	1	30.5	5.8		珪 170
	3	29.2	6.1	33	珪 390
	5	27.6	5.7		珪 130
4. 毛無 (17.5)	1	30.4	6.4		珪 1220
	3	28.6	6.4	32	珪 1410
	5	27.5	6.2		珪 810
5. この浦 (中央) (13.1)	1	29.9	6.1		珪 1140
	3	29.0	6.1	34	珪 580
	5	28.5	6.0		珪 390
6. この浦 (奥) (9.5)	1	29.9	5.6		珪 1100
	3	29.2	5.8	33	珪 650
	5	28.9	6.1		珪 200
7. テラマル (20.5)	1	27.9	6.1		珪 880
	3	27.5	6.2	33	珪 310
	5	26.1	6.4		珪 230
8. カマバ (12.0)	1	28.7	6.3		珪 1060
	3	28.1	6.4	34	珪 460
	5	27.4	6.5		珪 280

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
 今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。